

視察（研修）報告書

平成31年2月14日

府中市議会議長 様

会 派 名 公明党

議 員 名 大本 千香子

日 時	平成31年2月4日 13:30~16:00
視察（研修）先	岡山県西栗倉村 西栗倉村役場
視察（研修）項目	中山間地域における起業、雇用創出について
参 加 者	大本 千香子・創生会
視察（研修）内容	<ul style="list-style-type: none">ローカルベンチャーと雇用創出について百年の森林構想～地方創生の取り組み
所 感	<ul style="list-style-type: none">西栗倉村のローカルベンチャーの狙い<ul style="list-style-type: none">(1) 移住定住対策として<ul style="list-style-type: none">人口減少対策に地域に移住者をと考えるが、仕事がなく定住までに至らないため仕事を地域に作れる人に来ていただく取り組みをおこなった。(2) 小さな行政の実現<ul style="list-style-type: none">フルセットでの行政運営を行ってきたが、民間に任せられるところを拡大し、複数事業を一体で運営する。(3) 関係人口の拡大<ul style="list-style-type: none">ローカルベンチャー事業の推進により、西栗倉村のファンを拡大し、その関係人口の拡大により、地域の経済活動を後押しをし移住に繋げていた。そもそも、西栗倉村には定住支援などなく、企業支援も地域おこし協力隊制度の利用のみであるが、ローカルベンチャースクールや広域連携、新規事業創出事業などやる気のある人には手厚い支援を利用できるしくみが作られていた。府中市においてもIターン、Uターンを考えている人に対する支援や特に「やる気のある人材」には行政として活躍のできる場の提供を含め、考えていくべきと感じました。また、行政と民間との連携を強化していくべきとも感じました。そのための仕組みづくりも考えなければならない。企業誘致などの動きも止めることなく、働く場所の確保は人口減少の課題解決のひとつであるとも感じた。